ビジュアルスノウ症候群（VSS）

ライブラリ

私の場合

幼少の頃から「金色の粒粒」が見えてましたが，子供とはいえ，物事には優先順位がありましたので，粒粒問題は後回しでした。
周りに聞いても「あんた，おかしいんじゃないの？」「大変だから病院へ行った方がいい!!」「変なの」…とバカにされるか早とちりされるかですし，何よりも困ってなかったので，深刻に考えませんでした。

ネット情報によると，ビジュアルスノウ症候群は近年発見されました。少数にしか見られない症状で，閲覧者様が多数派なら，あなたとは違う視界の持ち主が世界には少しだけいるのです。

後天性の方からは，スノウ（粒）が被さったため，「好きな相手の顔が見えなくなった」「本が読めなくなった」などの不便な様子が聞かれ，精神的な病を発症する方もいるとのことです。
しかしながら，同じ症状でも先天性なら「日常」なので，捉え方も違います。

私の場合は砂金が視界全体に舞ってますので，視界の物体のすべてに砂金が付着しております。スノウは砂金ですので，粒が小さいため，物体を覆い隠すことも，輪郭を隠すこともありません。

飛蚊症も幼少から発症しておりますが，ビジュアルスノウ症候群と飛蚊症は違います。飛蚊症は水晶体の「淀み」を見ているようですが，ビジュアルスノウ症候群は網膜に（焼き）付いた無数の点々を見ている気がします。

後天性VSS の方は「白が白く見えなくなってしまった」と肩を落としますが，私という先天性VSS が一般の見え方を知ったとき「白って白く見えるんだ」と思いました。
信じられない感想だと思います。つまり精神を病んでません。

無礼を承知の上で申し上げますが，後天性の方の話は大げさに聞こえます。準ミュンヒハウゼン症候群（※）も同時に発症している疑いがあります。

後天性VSS は私にとって他人事なので，「見えるならいいじゃないか。常に真っ暗じゃないんだから」と思います。ディスプレイの文字が金塊で隠されたとき，後天性の方の気持ちがわかるのでしょう。

メガネを外せばいつもボヤボヤの世界ではありますが…。

※ミュンヒハウゼン症候群は周囲の関心や同情を引くために病気を装ったり，自分の体を自ら傷付ける行動が見られますので，ビジュアルスノウ症候群が実際に発症していて，重篤を装うなら「準ミュンヒハウゼン症候群」と言えます

最終更新日 2026-11-11

所定の場所　アップデート　まこと